



2024 年度
第 19 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

肥満問題深刻
小学校 1、2 年生
体育新設



500,000 人が参加する
無料
生活体育講習が
始まった



太白市楊口
スポーツ財団の影響？
体育大会中止
選手団不参加など



韓国テニス 80 年
初の事態？
管理団体の指定
体育会理事会の想定



トランスジェンダーと
レディスポーツ



01 KBS 2024. 05. 10

「肥満問題深刻」… 小学校 1、2 年生「体育新設」



ただでさえ運動量が足りない最近の学生たち、新型コロナウイルス感染症で学校に行かない間に肥満がさらに増えました。

特に小学生の問題が深刻で、体育の授業が強化されます。

何がどう変わるのか、賛成と反対の立場はどうか詳しくお伝えします。

レポート

35 年ぶりに小学校 1、2 年生に体育科目が別途できます。

「これまでは体育の時間がなかったのかな？」

こう思う方もいると思うんですけども。

現在、初等学校 1、2 年生の体育は 5 次教育課程が適用された 1989 年から音楽、美術と共に「楽しい生活」という統合科目に含まれています。

生徒たちは音楽と美術、体育を教師の分配によって学ぶことができますが、ここで体育が分離され一つの独立した科目として新設されるのです。

国家教育委員会は先月、初等学校 1、2 年生の身体活動関連教科を新設する内容の国家教育課程変更案を審議、議決しました。

理由は昨年、教育部の要請があったからです。

教育部は当時、COVID-19 の拡散以後、生徒たちの体力低下と肥満問題が深刻だとし、低学年の身体活動時間を増やすために体育教科を分離すると明らかにしました。

ところが教師界では体育科目分離および新設に反対する声が出てきました。

初等学校教師労働組合が実施したアンケート調査では 98%の教師が体育科目分離が「合理的ではない」と答えました。

その理由としては「十分な議論のない拙速推進」を最も多く挙げました。

また、発達段階に合う統合教科の必要性和非教育専門家の介入憂慮が後に続きました。

体育科目は他の科目に比べて相対的に安全事故が発生する危険が大きいです。

したがって、これに責任を負わなければならない教師の負担感が増え、関連して色々な苦情が発生しうる点なども反対の声に力を与える根拠です。

初等学校教師労働組合は「不必要な教科分離改正議論は捨てて学校現場体育活動空間用意と改善に出なさい」とし、「学校で身体活動授業をしたくても物理的な条件が用意されずできない場合が多い」と主張しました。

体育活性化のために科目分離を求めてきた大韓体育会などの体育団体や文体部は歓迎の立場を示しました。

一部の保護者も肯定的な声を出しています。

体育までも私教育化されている状況で負担を減らすことができるといいます。

基礎研究と教科書開発などの手続きが残り、体育教科を分離するまでには2～3年程度がかかると予想されます。

それまでに現場の声を反映して、教師と生徒の両方に楽しい体育の時間が作られることを期待します。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=7960655&ref=A>

02 ノーカットニュース 2024. 05. 10

500,000人が参加する「無料生活体育講習」が始まった



大韓体育会が運営する無料生活体育講習が今月に入って本格的に始まった。全国各地の野外空間で一斉に行われる講習は朝6時～夜9時まで行われる。

10日、大韓体育会によると、5月から年末まで全国17市・道196カ所で「太陽を迎える生活体育教室」を運営する。老若男女誰でも参加できる。月～金曜日まで週5回(134回授業)行う。午前6～9時、午後6時～9時の1日2回オープンする。公園、広場、水辺など講習場所に別途の申請なしに訪問すれば無料体育講習を受けることができる。

生活体育指導者が生活体操、ラインダンス、国学気功などの講習を運営する。講習を通じたストレス解消、筋力強化など参加者の健康増進効果が期待される。昨年は全国的に51万人が講習に参加した。今年は講習所が少し増えただけに、参加者も増加するものと予想される。

「太陽を迎える生活体育教室」に参加した住民の反応も熱い。大韓体育会が昨年11月に実施した満足度調査で大部分(98.1%)の参加者は「機会があれば太陽を迎える生活体育教室に参加したい」と答えた。また「動作を真似するだけでもストレス解消と健康増進に多く役立った」、「近い距離で専門的で面白い運動ができて良かった」などの意見が相次いだ。

地域別教室運営場所および時間などの詳細内容は大韓体育会体育ポータル内の「生活体育・体育活動・「太陽を迎える生活体育教室」」掲示板で「運営箇所現況」を通じて確認すれば良い。また、各教室別運営時・郡・区体育会に問い合わせても良い。

大韓体育会は地域住民の持続的な生活体育参加機会提供のために「太陽を迎える生活体育教室」を2021年から主催している。市・道体育会と市・郡・区体育会が主管し、文化体育観光部と国民体育振興公団が後援する。

大韓体育会生活体育部の関係者は「『太陽を迎える生活体育教室』の参加者たちは授業を通じて学んだ動作で地域内の生活体育大会に出場することもあるなど、自らスポーツ参加の機会を拡大している」と伝えた。

この関係者は続けて「生活体育活動入門の呼び水の役割をする事業であるだけに、今後も地域住民が体育活動に簡単に接近できるよう環境および条件を造成していく方針」と付け加えた。

出典：

https://www.nocutnews.co.kr/news/6142843?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20240510022627

03 プレシアン 2024.05.10

太白市場口スポーツ財団の影響？体育大会中止選手団不参加など



スポーツ財団の葛藤で太白市と楊口郡のスポーツ大会開催に赤信号が灯った。

10日、江原特別自治道体育会によると、昨年9月、道内の市郡体育会長協議会は、スポーツ財団が設立されたり、スポーツ財団の設立を推進する

市郡で開催される体育大会はボイコットするという立場を明らかにした。

楊口郡の場合、4月楊口で開催予定だった「第19回江原特別自治道高齢者生活体育大会」は無期延期された中で、ソ・フンウォン楊口郡守の招請で9日楊口郡で江原道市郡体育会長団と懇談会が開かれた。

同日、楊口郡庁で開かれた懇談会は、体育会長団と徐フンウォン楊口郡守の立場の違いを確認した中で、スポーツ財団の問題点について「体育会長団の立場は絶対に譲歩できない」という点を明確にしたという。

特にスポーツ財団設立問題で深刻な葛藤を生じさせている太白市の場合、執行部と市体育会の懇談会さえ開かれない中で太白国民体育センターの委・受託問題で訴訟戦まで展開された状態だ。

太白市は国民体育センターに市体育会事務所を運営しているが、昨年から他の場所に体育会事務所の移転を一方向的に通知した状態だ。

特に、太白地域の場合、スポーツ財団の葛藤で全国大会が他の地域に移るのはもちろん、道内18の市郡選手団の不参加通知で一部大会は返却されたり、半分の大会に転落しているという指摘だ。

昨年まで14年間、10年間太白でそれぞれ開催してきた太白山杯全国中高バレーボール大会と文化体育観光部長官旗全国中高テコンドー大会は今年、麟蹄と鉄原に開催場所が変更された。

また、大韓体育会長旗、生活体育、全国卓球大会など卓球大会も少なくとも3大会が取り消しになったのはもちろん、男女弓道大会などは大会を返上したとされるなか、全国および道単位の体育大会も道内選手団の参加が不透明になった。

太白地域のあるスポーツ加盟団体長は「太白市が体育人の反対を無視してスポーツ財団設立を強行したため、大会取り消しと参加選手団縮小で地域経済沈滞はもちろん地域体育発展にも深刻な影響を及ぼしている」と話した。

これに対し太白市関係者は「国民体育振興法により市体育会の業務と太白市の行政業務は別」とし、「スポーツ都市の力量を強化するためにスポーツ財団を設立するものであり、地域経済活性化のために体育大会誘致に最善を尽くしている」と反論した。

一方、太白市は今年58の大会（専門27の大会、生活体育31の大会）を開催し、地域経済の活性化に役立つとしているが、多くの体育大会は1-2日の短期日程だったり、選手団が少ない大会も少なくないという指摘だ。

出典：

https://www.pressian.com/pages/articles/2024051016282582058?utm_source=naver&utm_medium=search

韓国テニス 80 年初の事態？ 「管理団体の指定、体育会理事会の想定」



テニスブームが全国を襲っている中、逆説的にも種目を総括する協会が史上初の管理団体転落の危機に追い込まれた。上級機関である大韓体育会が理事会に関連案件を正式に上げるという決定を下した。

大韓体育会関係者は 8 日 CBS ノーカットニュースに「前日、体育会大会議室で大韓テニス協会の管理団体審議委員会を開いた」とし、「管理団体指定理由に該当するという結論を下した」と明らかにした。続けて「審議委員会を通過しただけに体育会理事会に案件を上程することになるだろう」と付け加えた。

当初、7 日の審議委にはテニス協会の関係者らも出席した。ソン・ヨンジャ協会長職務代行は 8 日「委員長以下の審議委員らに現在の協会の財政状況を説明し、管理団体指定に確実に反対するという立場を伝えた」と明らかにした。

しかし、体育会審議委は、協会が管理団体に指定されるほどの理由があると判断した。協会が陸軍士官学校テニスコートの運営問題で中堅企業のメディアウィルに 40 億ウォンを超える負債を抱えているという点からだ。体育会定款第 12 条 1 項加盟団体の管理団体指定要件の中で「財政悪化などその他の理由で正常な事業遂行不可」を適用したのだ。

管理団体に指定されれば、協会役員陣は解任され、体育会が構成する管理委員会が運営を担当する。

1945 年に創設され、来年 80 周年を迎える協会が初めての管理団体指定という屈辱を受けることになるわけだ。

事態がここまで至ったのには、陸士コートをめぐるテニス界の分裂が決定的に作用した。26-28 代まで協会長が全員分かれる過程で生じた巨額の負債問題を解決できず「テニスの黄金期」であるにもかかわらず、協会が風前の灯火の危機に追い込まれたのだ。

協会 26 代のチュ・ウォンホン会長は、実弟のチュ・ウォンソク会長の総合メディアグループであるメディアウィルに 30 億ウォンを借りて、15 年にユクサコートのリモデリング事業を推進した。その代わりに、メディアウィルにはコート運営権を与えることにした。しかし、第 27 代の郭ヨンウン会長が、グリーンベルト地域に入った室内コートの不法性などを理由に、メディアウィルとの契約を破棄した。

これに対し、メディアウィルが提起した訴訟で、協会が 1、2 審で敗訴し、元金 30 億ウォンに利子まで 60 億ウォンを超える負債を抱え込むことになった。第 28 代会長の鄭ヒギョン氏は、メディアウィルと負債交渉のための協約を交わしたが、「陸士コート」の運営権移管は解決できなかった。ここに背任疑惑まで起き、昨年 9 月に鄭会長が辞退し、代行体制で協会が運営されてきた。

それでも現執行部は協会の管理団体指定は無理があるという主張だ。孫代行は「鄭ヒギョン会長が辞退した時点で管理団体指定になったとすればむしろ理解できる」とし「しかし以後 7~8 ヶ月が流れた状況で体育会が動くのは話にならない」と強調した。続いて「協会が厳しい中でも公式用品契約をして代表チームを支援するなど正常に運営されている状況」と付け加えた。

何より「財政悪化などその他の理由で正常な事業遂行不可」という要件に該当しないという意見だ。孫代行は「7~8 ヶ月間、8 億ウォン相当の費用問題を解決するなど、メディアウィルの負債を除けば、協会はうまくいっている」と明らかにした。

メディアウィルも最近、協会に対する差し押さえを解除し、息抜きができるようになった。協会はメディアウィル事態で2022年9月にメインスポンサーとして契約したハナ証券から昨年後援額を受け取れなかった。しかし、差し押さえが解除され、昨年未払いになった後援額が近いうちに入金される予定だ。代行体制以後、協会運営費を越える水準の巨額と知られた。

テニス界の一部では、体育会の動きに政治的な目的があるのではないかという疑惑が起きている。当初、協会は鄭会長の辞退後、昨年10月に会長選挙を行う予定であり、チュ・ウォンホン会長とクァク・ヨンウン会長はもちろん、イェ・ジョンソク副会長など3人が立候補まで終えた。しかし、選挙を1週間後に控えて、体育会の李ギフン会長が国会国政監査に出席し、一部の国会議員が出馬候補の資格に対する問題を提起すると、選挙中止を宣言した。

特に李会長は当時の国政監査で「スポーツ倫理センターが過去3人のテニス協会長を調査しているが、これが完結してすべてが疎明されるまで選挙を行うことはできない」と話した。しかし、倫理センターは鄭ヒギョン会長個人の不正事案に対する調査を行っていたことが明らかになった。また、体育会が選挙不可の理由として挙げたチュ会長、クァク会長に対する監査院の監査結果も「実益なし」で終結した。

それでも体育会が協会の選挙中断に続き管理団体指定まで推進することは背景が疑わしいという意見だ。あるテニス界関係者は「李ギフン会長が3連任を狙っているという噂は体育界に広がっている」とし「協会前会長らが与野党政界に連係し軋轢争いがあるだけに疑惑が向けられている」と指摘した。また別の関係者は「管理団体になれば体育会、特に李会長の影響力が通じる人物が協会運営を引き受ける可能性が高い」と展望した。

協会初の危機にテニス界も体育会の手続きに反対の声を上げている。市道テニス協会事務局長協議会は6日、「大韓テニス協会管理団体指定結社反対の件」という公文書を体育会に送った。協会長選挙を今年上半期に施行してほしいという要求事項も伝えた。

また、男女国家代表出身たちも9日、オリンピック公園に集まり、協会の管理団体指定に反対する要請文を発表する。全米オープン16強2回のオリオンズのイ・ヒョンテク監督、ソウルアジア大会4冠王のユ・ジンソン元議政府市庁監督などが参加する予定だ。

出典：

https://www.nocutnews.co.kr/news/6142047?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20240509060010

05 ニュースピム 2024.05.09

トランスジェンダーとレディススポーツ



話題を投げてから始めよう。女性に性転換したトランスジェンダーのスポーツ競技出場。--皆さんはどう思うか。果たして公正なのか。記者はさっぱり分からない。おそらく、このコラムを書き終えた後も、答えは見つからないに違いない。深く考えたことのない不慣れな分野だからだろうか。それは違うと思う。

両性平等がどこまで許容されなければならないのか、韓国社会が明確な基準を用意できなかったせいにより大きいだろう。社会的合意はなく、非難と処罰だけがある両性平等問題。生半可に意見を出すのは容易ではない。ファクトだけ見てみよう。

◆性を変える権利は支持するが、公正はもっと重要な価値？

最近目につく外信の報道があったので紹介する。英マンチェスター・メトロポリタン大学とスワンジ大学の研究チームは先月 16 日、スポーツ学術誌「ジャーナル・オブ・スポーツサイエンス」に論文を掲載した。

女性選手の大半は、「男性から女性になった選手と競争するのは望ましくない」と答えた。英国、米国、カナダ、南アフリカ共和国、オーストラリアなど世界各地の女性選手 175 人を対象にした調査だった。種目もホッケー、カヌー、陸上、水泳など様々だった。

回答者の 58%は、「スポーツ競技の出場だけは、性アイデンティティや社会的性別ではなく、生物学的性に区分しなければならない」と主張した。研究陣がワールドクラスに分類したオリンピック、パラリンピック、主要世界大会の出場者だけを見れば、この割合は 77%に急騰する。

この研究が注目される理由は、性転換をめぐる公正性葛藤の当事者である女性エリート選手を対象に行った最大規模の調査であるためだ。

ところが、興味深い点がある。ラグビー、陸上など男女の差が大きい種目の選手に比べて、アーチェリーのように身体能力より集中力が求められる種目の選手たちが不当だと答えた割合は 32%に大きく落ちた。むしろ「大丈夫」という回答が 51%で半分を超えた。

全体回答者の 94%は、性アイデンティティが導く通りに生物学的な性を変える権利を支持した。種目別の主管団体も 81%が「性転換選手のためにもっと包容的な政策を展開しなければならない」と答えた。このような両面的な反応に対して研究陣はトランスジェンダーの「人権」は重要だが、競争の領域に入ると「公正」が譲歩できない最優先価値になるためだという解釈を出した。夢より夢占いのほうがいい。一つ習ったことはある。しかし、果たしてこれが唯一無二の解答なのだろうか。

◆トランスジェンダーより男性ホルモンの数値が高い女性も失格？

7月末に開幕する 2024 パリ五輪は、早くもこの問題で騒々しい。3年前の東京五輪で初めて登場したトランスジェンダーの本大会出場が拡大する可能性があるからだ。

東京五輪ではニュージーランドの重量挙げ選手ローレル・ハバードが女子最重量級（+87 キロ）に出場した。ハバードは名前がギャビンだった時代にも、最重量級（+105 キロ）選手として活動した。ジュニア時代、すでにスナッチの合計 300 キロを上げた有望株だった。これは張ミラン文化体育観光部次官（+75 キロ級）の以前の世界記録 326 キロに迫る。

しかし、ハバードは性アイデンティティの悩みが大きくなり、23 歳で運動をやめた。30 代半ばの 2013 年に性転換した後、再びバーベルを取って 43 歳で五輪出場権を獲得した。幸いかも知れないが、ハバードがスナッチ部門で 3 回のチャンスをすべて逃して早くもメダル獲得に失敗したため、これ以上の議論は進まなかった。

ハバードとは違って、全盛期に性転換した選手もいる。米水泳選手のリア・トーマスは手術をしていないトランスジェンダーだ。彼は 1 年以上ホルモン治療を受けた後、出場した 2022 年米国大学選手権大会女子自由形 500 ヤードで圧倒的な技量を披露して優勝した。彼の男子時代の米国ランキングは 400 位圏内

だった。当時、彼と同じロッカールームを使っていた女子選手たちは、ほとんど「ひどい経験だった」と口をそろえた。

その後、国際水泳連盟は、国際オリンピック委員会（IOC）のガイドラインである男性ホルモン・テストステロンの血中濃度に関する規定のほか、12歳以前に性転換手術をした選手にのみ女子部の試合出場を認めると決め、トーマスの出場を源泉封鎖した。

これに対しトーマスは今年1月、IOC傘下の国際スポーツ仲裁裁判所（CAS）に訴訟を提起した。彼は「私より男性ホルモン数値が高く、骨格筋量が多い女子選手もいる。それならその選手も失格なのか」と反問した。IOCはまだ返事をしていない状態だ。

国内では昨年6月、江原道民体育大会のサイクリング種目にナ・ファリンが出場した。2012年、同大会4冠王出身の彼女は、2022年10月に手術を受け、昨年4月に住民登録番号が変更され、大韓体育会に諮問を得て出場資格を得た。

180センチ、72キロのがっしりとした体格に骨格筋量が32.7キロに達するナ・ファリンは、37歳の時も金メダル2個と銀メダル1個を首にかけて。彼女は「競争した選手たちには申し訳ない」とし「（優勝ではなく）議論になるために出てきた」と話した。

◆競争で男女の技量の差だけがあるわけではないが・・・

ほとんどのスポーツで男子が女子より優秀な技量を見せているのは事実だ。記録競技ではなく単純比較が不可能だからであって、ボクシング、テコンドー、柔道、レスリングなど格闘技で男女が対決するのは想像するだけでもぞっとする。

重量挙げは記録競技で男女の偏差が最も大きい種目だ。体重が重いほど差はさらに広がる。ジョージアのラシャ・タラガゼは、2021年世界選手権大会の最重量級でスナッチ225kg、ジャーク267kgを挙げ、男子世界記録を更新した。女子最重量級世界記録保有者であるロシアのタタニヤ・カシリーナ（スナッチ155キロ、ジャーク193キロ）はタラガゼの68.9%、72.3%に過ぎない。

興味深い点は、カシリーナが男子61kg級（318kg）と67kg級（339kg）の世界記録を上回るという点だ。私たちの固定観念は男性が女性に無条件に勝つと思うが、体格の大きい女性が小さな男性を圧倒できるという反証だ。先立ってトーマスが提起した疑問が十分に説得力があることを示す事例でもある。

それで階級を分けて公正を図るとはいえ、世の中は男女と階級という基準の他にも80億の人口ほどに多くの差が存在するのではないか。この数多くの違いを全て盛り込んで「絶対公正」を立てることは神が存在しても不可能だろう。まるで選択的福祉か、普遍的福祉かと似た論争だ。

もちろん、男女の差がほとんどないか、逆転した種目もある。射撃10メートルエアライフルとピストル、25メートルピストルなどでは、女子が男子世界記録を上回る。射撃は他の細部種目でも差がほとんどない。アーチェリーは全体的には男子がややリードするというのが定説だが、オリンピックや世界選手権など主要大会では逆転がたびたび起きる。この他、カーリング、乗馬のような場合は、性対決を試みる価値があるという評価だ。それなら、これらの種目から男性に性転換したトランスジェンダーの出場が続くなら、またどのように対処するのか。

一方、メンタルスポーツでは一般的な予想とは違って、男性がはるかにリードしている。囲碁では、中国のルイナウェイ九段が00年、東亜日報の国手戦で優勝したのが最初で最後だった。女子囲碁世界1位のチェ・ジョン9段の国内ランキングは22位だ。Eスポーツのスタークラフトでは、女子ゲーマーが優勝したことは一度もなかった。

最近になって、美人コンテストで女性に性転換したトランスジェンダーの参加ニュースをよく耳にするようになる。男性としての過去がどれほど役に立つかは分からないが、地域や小さな大会を除いても昨年7月オランダではリッキー・コーラーが、10月ポルトガルではマリーナ・マチューテが優勝カップを抱いた。すると、今度は彼らが男性であるため、女性参加者が逆差別を受けたという不満の声も出た。一部では様々な不満をなくすためにトランスジェンダー部門を新設しなければならないという主張もある。実際、昨年10月のベルリン水泳ワールドカップでは「すべての性別と性アイデンティティを持ったトランスジェンダーのための部門」を作ったこともある。しかし、IOCは現在これに対して不可の立場だという。

このようにトランスジェンダーの女性スポーツ競技への出場は、誰にでも鮮明に見える代表的な議論ではあるが、全体の問題ではない。私たちはもっと広い観点で違いと差別の問題に接近しなければならない。違いは男女基準だけでなく、数多くの要素が複合的に存在する。女性が常に不利なわけでもないからだ。

出典：<https://www.newspim.com/news/view/20240509001063>

06 週間スポーツニュース

コーチから性的虐待を受けた米テニス有望株・・・賠償金 123 億ウォン

https://nownews.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20240508601007&wlog_tag3=naver

京畿道の体育人たちが共感した国際スケート場の最適地「金浦」

<https://www.fnnews.com/news/202405101156575049>

泰安郡、第5回全国オウリムマラソン大会の準備に突入

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20240510_0002730248&cID=10807&pID=10800

兼職禁止違反にパワハラ疑惑・・・仁川市体育会職員に重懲戒

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240508089300065?input=1195m>

釜山カトリック大学、労働者の「スポーツ権」保障プログラムを運営

<https://www.metroseoul.co.kr/article/20240510500171>

原州市「2024 生活体育ハンマウム大祭典」が今日開幕

<https://www.news1.kr/articles/5411907>

文化体育観光部「地域活力タウン事業を通じて生活体育施設造成支援」

<https://www.newspim.com/news/view/20240509001369>

報恩、軍のバンダビ体育センター造成に全力・・・「障害者生活体育基盤」

<https://www.news1.kr/articles/5412672>

斗山建設、「We've チャンピオンシップ」の収益障害スポーツ選手に寄付

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20240510_0002730230&cID=10401&pID=10400

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>